

一般質問

◆本市における地域医療体制について

質問 本市における医師・看護師の不足状況について伺う。

答弁 湯沢雄勝圏域における医師数の目標は、令和5年度までに83人となっているが、令和2年度の実績では74人とどまっている状況である。看護師数は若干増加しているが、在宅医療などの需要増大により充足していない状況と考える。

質問 医師不足に対する具体策について伺う。

答弁 若手の医師に対して定着を目的とした独自の研修資金貸与制度などを設けており、令和2年度から利用促進のため要件を緩和した。また、医師に限り優遇的な制度を作ることに関して、庁内で協議を継続している。

質問 雄勝中央病院への高度医療機器の導入支援について伺う。

答弁 今年度は「血管造影装置」の導入支援を行った。令和8年度ごろに「移動式X線撮影装置」の導入が候補となっている。

◆湯沢雄勝版観光地域づくり法人(DMO)について

質問 設立を進める動機と経緯

について伺う。

答弁 湯沢雄勝地域には、自然や祭り、食文化など多くの観光資源が存在するが、それらを最大限に活用できていないのが実情である。このため、広域的な観光事業の舵取り役となる地域DMOの設立を目指している。

本市、羽後町、東成瀬村、観光関係者およびさまざまな事業者が連携し協議を重ねており、国などの支援制度を活用しながら、最短で令和5年度中の設立に向けて取り組んでいる。

質問 DMOの設立は、地域の「稼ぐ力」にどれほど寄与すると考えるか伺う。

答弁 DMOの仕組みを積極的に活用していただき、情報共有や事業参加などによるPRの機会の増加を「稼ぐ力」につなげ、事業拡大や収益の増加に結び付けていただきたい。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆産業振興について

質問 物価高騰やウイズコロナ時代を生き抜くためには、雇用の確保や所得の向上が重要であり、移住定住促進と併せた施策が必要と考えるが、どのように捉えているのか伺う。

答弁 雇用の確保については、重点的に取り組んでいるが改善には至っていない。湯沢市の企業を知っていただけのような取組を実施していく。

質問 地場産品を活用した今後の取組について伺う。

答弁 さまざまな商談会などが開催されているが、厳しい状況に陥っている。今後は各関係団体との連携をしっかりと深め、有効的な施策を展開し、地場産業全体の活性化を図っていく。

◆人口減少・少子化対策について

質問 少子化の影響は、将来的な労働力が減少することを意味し、さらには社会保障への現役世代の負担が増大していく。急速に進む人口減少や少子化についてどのように捉えているのか伺う。

答弁 本市の人口減少には歯止めがかからず、むしろ加速していること認識している。人口減少は福祉部門だけでなく、全庁の最重要課題と捉え、各部門からさまざまな施策を検討し、新年度予算をしっかりと組んでいく。

質問 子育て世帯への負担軽減を図るため、学校給食費の無償化について見解を伺う。

答弁 学校給食費の無償化は、子育て支援として有効な施策であると捉えている。市民の皆さまが将来設計を考える時に、5年10年はあつという間であり、早い段階で国にも財源などの検討を要望しながら、無償化について鋭意検討していく。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。